
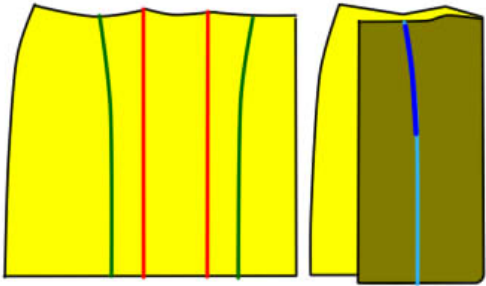

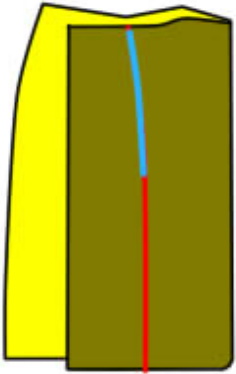

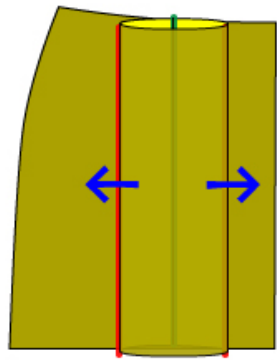
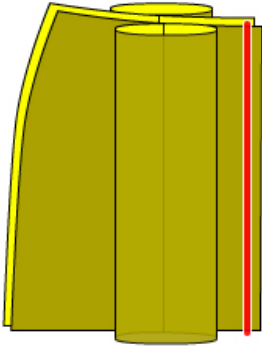
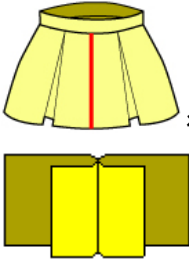
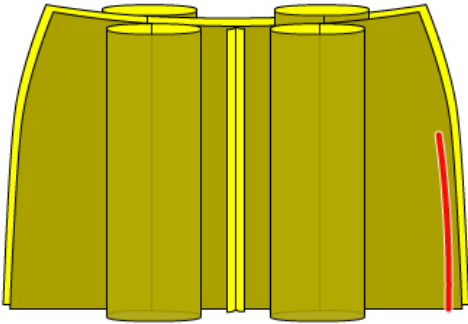
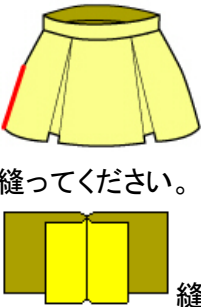
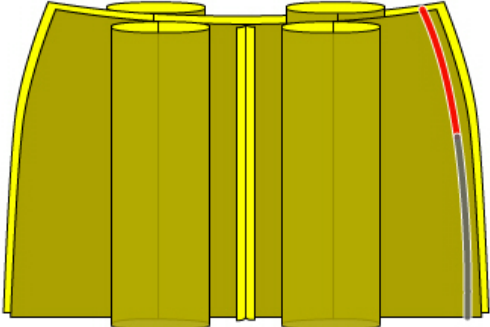
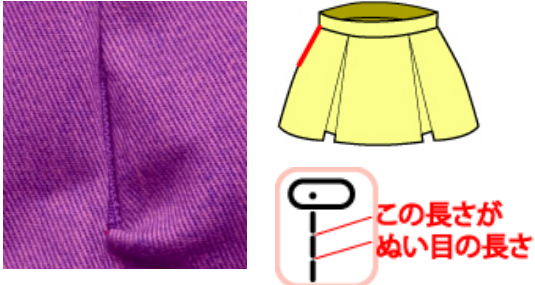

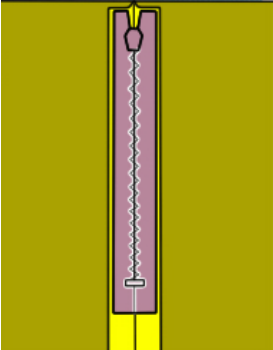
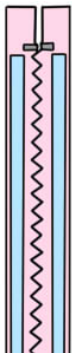
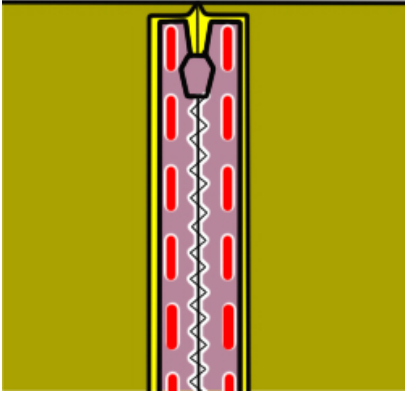


ボックスプリーツスカートの縫い手順

 <p>布の印のつけ方や接着芯の貼り方は縫う前の下準備で詳しく説明しているよまだ見たことがない人は先に見てね!</p> <p>→ 縫う前の下準備</p>	<p>■ 表 ■ 裏 ■ 接着芯</p> <p>裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。型紙に指定された場所の裏に接着芯を貼ってください。前身頃1枚、後身頃2枚、ウエストベルト1枚を切ってください。</p> <p>ファスナーは、脇(ポケットをつけたい場合は後)につけま</p> <p>す。</p>
	 <p>プリーツを折ってください。</p> <p>上の段の緑の所同士を合わせるように折折ってください。そして上から10cm下位のところ(青の線)まで縫ってください。</p>
	 <p>縫い目の長さを大きくして赤い所を縫ってください。</p> <p>縫い目を大きくするのは、あとでほどきやすくするためです。</p>
	<p>縫い合わせたところを左右に広げます(図2)</p> <p>このとき、「ファッションライナー」というスプレーをかけておくと、作った方がいいがお出かけで着たときに、すぐヒダが取れてくしゃくしゃというのが防げます。</p> <p>生地に湿る程度に振りかけてアイロンをかけると、プリーツが消えにくくなります。</p> <p>プリーツスカートを作る際の必須アイテムです。</p> <p>これをしていないと、大概の生地は着ているうちにヒダが消えてしまいます。</p>

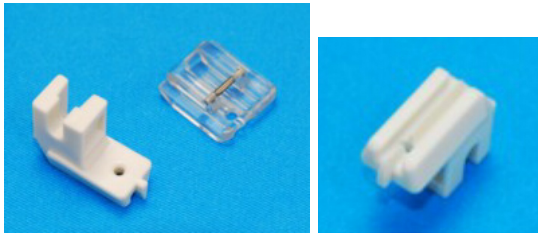
	 <p>後中心を1cm幅で縫ってください。</p> <p>縫い代を左右に広げてください</p>
	 <p>ファスナーを付けるために脇を1.5cm幅で縫ってください。</p> <p>縫い代を左右に広げてください。</p>
	 <p>この部分はあとでほどくので、ミシンの縫い目の長さを長くしてください。</p> <p>あきどまりの印をつけた所からファスナーをつける部分の縫い代を縫ってください。</p> <p>これを縫わないと縫いずれてしまうので注意。</p>
	<p>縫ったら、縫い目の長さを2~3mmに戻し、アイロンで縫い代を左右に広げてください。</p> <p>洋裁用語で割るといいます</p>
	 <p>あれば熱接着の両面テープをファスナーの表面に貼ってください。</p> <p>裏を上にして生地を置いてください。</p> <p>熱接着の両面テープのはくり紙をはがしてください。</p> <p>縫い代の上に、裏を上にしたファスナーを置く。</p> <p>アイロンで固定してください。</p>



熱接着の両面テープが無い場合
なければ手縫いで2cmくらいの大きい縫い目でしつけ糸で
ファスナーと、縫い代だけを開きどまりの所まで大雑把に
縫ってください。



糸きりハサミやリッパーで2番目
に縫ったファスナーをつける部分の糸をほどいてください。

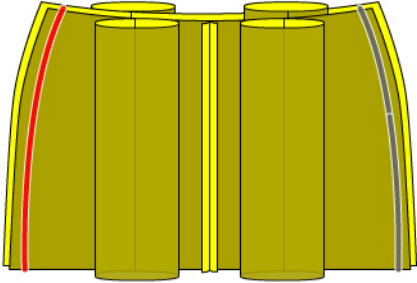
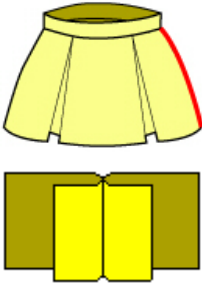
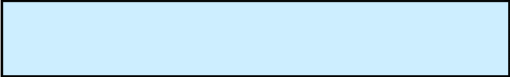
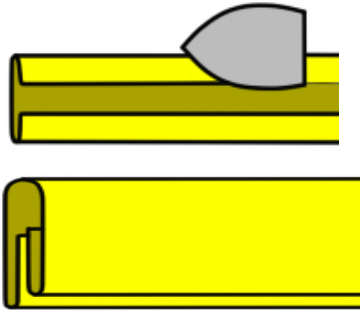
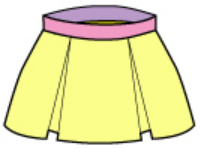
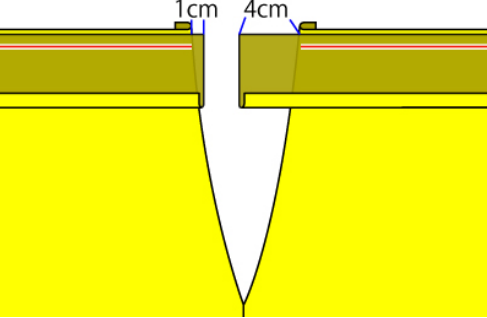
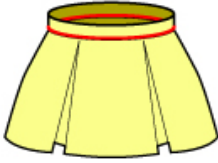
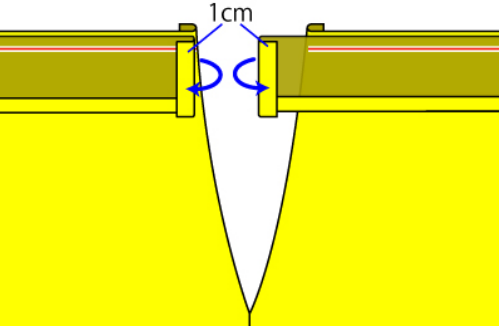
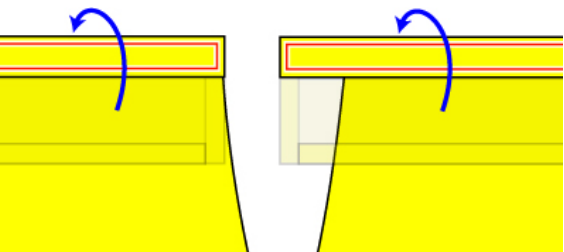
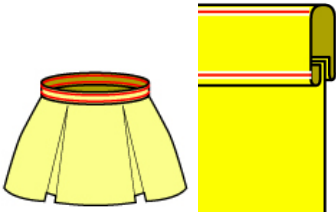


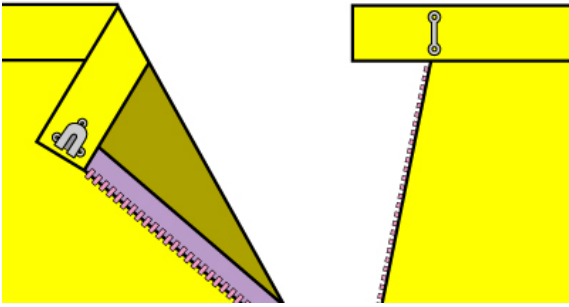

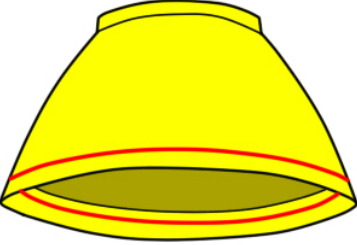

ミシンの押さえをコンシールファスナー押さえに替えてくださ
い。
このコンシールファスナー押さえは一般的な家庭用ミシンで
あれば数百円で購入ができます。
最近では付属のミシンものもあります。
お洋服を作る人は1つ持っておくと便利ですよ。
左側は軸から替えるタイプ、右は後のボタン押して押さえを
交換するタイプ用

コンシールファスナー押さえはこのように裏側に溝が入って
います。



この溝にファスナーのムシ(レール部分)を入れて縫うと、
ファスナーのムシのそばギリギリを縫うことができます
そして開きどまりまで縫ってください。

	 <p>反対側の脇を縫ってください。</p> <p>縫い代を左右に広げてください</p>
	<p>※ウエストベルトの裏全体に接着芯を貼るのを忘れずに。芯がないとへろへろした仕上がりになります。</p>
	 <p>ウエストベルトはあらかじめアイロンで縫い代を裏側に折り、さらに半分に折り目を付けてください。</p>
	 <p>スカートとベルトを表同士が内側になるように重ねてください。 スカートよりベルトが●=1cmはみ出すように重ねて縫ってください。</p>
	<p>両端の縫い代を裏へ折ってください。</p>
	 <p>断面図</p> <p>スカートの縫い代をベルトで包んでください。 ベルトを縫ってください。</p>

	<p>かぎホックを手縫いでつけてください。 表から見えなければいいです。</p> <p>手縫い糸を長く切ると縫うときに絡まりやすいので30cmくらいに切って使ってください。</p>
	<p>青い部分の縫い目をほどいてください</p>
	 <p>ヒダを広げてください。 すその縫い代を2cm折ってください。 すそから1.5cmくらいの所をぬってください</p>

🌸 おすすめ生地

・ポリエステルツイル

(T/Cとかかれたもの=ポリエステルと綿の混紡)

ポリエステルが入るとしわが入りにくくなります。

・綿ツイル

一般的な手芸店さんで手に入れやすく、縫いやすい生地です。

・ タータンチェック ウールのものは幅が広かったりするので少ない量の生地で作れたりするものもあります。



糸、コンシールファスナー20cmくらいのもの、接着芯、かぎホック、ファッションライナー